

川越市体協だより

第29号

理事会報告

■第三回理事会

(十二月十一日)

市役所において、第三回理事会が開催されました。

《報告事項》

一 事務局より

① 第十六回川越市生涯

スポーツフェスティバル

② 小江戸川越ハーフマラソン2019

二 各専門委員会より

組織・指導・広報・推薦の

各委員長より、活動状況報告

三 その他

東京オリンピック・ゴルフ

競技記念事業において、本協

会も協賛団体となっています。

今後、市役所の敷地にモニ

ュメントを制作する予定であ

ります。

《協議事項》

一 令和二年川越市体育関係

者賀詞交歓会について

今年度は、一月十三日(祝)

に開催することになりました。

幹事団体は水泳協会になりま

す。

二 令和元年度川越市体育功
労者及び優秀選手の推薦につ
いて

今年度は、五団体より推薦
がありました。これらの方々
は、皆立派なご功績をあげて
いらっしゃいますが、推薦規
定により、四名を体育功労者
として推薦することを決定い
たしました。

優秀選手については、各団
体から提出された推薦者につ
き確認作業を経て二百八十七
名を選考しました。

当日は、今年度の幹事団体
であるバレーボール連盟とバ
スケットボール連盟にご協力
をいただき予定です。

三 令和二年度事業計画案に
ついて

来年度の事業計画案の日程
内容等について提案がありま
した。

提案に基づき、来年度に向
けた活動内容を確認し、事業
計画や体育協会の協力事業に
ついて検討しました。

来年度は隔年事業である視
察研修会を行う予定です。

委員会活動報告

■組織委員会 委員長 牛久保努

十二月三日に市役所五階ス
ポーツ振興課前にて、川越市
優秀選手推薦書の事前審査を
行いました。今年も各団体か
ら多くの推薦書が提出され、
選考基準に該当するかを審査
しました。

なお、本日の理事会で体育
功労者及び優秀選手対象者を
正式に決定したいと考えてお
ります。

十一月十日、第三十三回川
越市健康まつりがウェスタ川
越の多目的ホールで開催され
ました。

今年加盟団体の紹介パネ
ルを展示し、昨年同様にラグ
ビーの体験コーナーも設けま
した。今年度は日本でラグビー
ワールドカップが開催された
こともあり、当日は大盛況で
した。

■広報委員会 委員長 田中幸子

令和二年一月一日にスポー
ツ川越第四十号の発行に向け
て内容を検討し、担当の割り
振りを行いました。活躍する
選手たちは、東京オリンピッ

クのゴルフ競技が霞ヶ関カン
ツリー倶楽部で開催されるた
めゴルフ協会に担当していた
できます。

■推薦委員会 委員長 阿久津廣

十月九日の第二回理事会終
了後に第一回推薦委員会を開
催しました。九名の推薦委員
から委員の互選により、委員
長と副委員長が決定しました。

また、本日、体育協会加盟
団体長宛に体育協会正副会長
の推薦書を依頼させていただきました。

第十六回川越市生涯 スポーツフェスティバル

令和元年十一月三日(祝)

ツフェスティバル(愛称生涯
スポーツフェスタ2019)が
二千三十六名の参加をいた
だき盛大に開催することがで
きました。

子供から大人まで市民の誰
もが気軽にスポーツを体験し、
心身の健康増進と市民相互の
交流を図ることが目的で「ウ
オーキング」(一般、親子計三
百五十八名)、「綱引き」(小
中学生・一般計六十六チーム
七百二十七名)、「ふれあいコ
ーナー」(述べ六千四十一名)、
「体力測定コーナー」(九十七
名)の大勢の方が意欲的に参
加していただき、無事に終了
することができました。



川越運動公園を会場として
「第十六回川越市生涯スポー



体育関係者賀詞交歓会

令和二年一月十三日(祝)

○会場 氷川会館・初雁の間
○人数 二百九十九名



今年の賀詞交歓会は大塚副会長の開会のことばから始まりました。

その後、川合善明市長、河野哲夫会長、三上喜久蔵市議会議長、新保正俊教育長による鏡開きで宴が幕を明けました。

また、後半にはカラオケ大会を開催し、幹事団体である水泳協会の司会のもと大いに盛りあげられました。

次回の幹事団体は、スキー連盟になりますのでよろしく

お願い致します。

参加いただきました各団体の皆様には、この場をお借りして、御礼申し上げます。

体育功労者並びに

優秀選手表彰式

令和二年二月二十三日(祝)

○会場 やまぶき会館



○受賞者 体育功労者四名

中島明男様(バスケットボール連盟)
丸井功様(バドミントン連盟)
石川秀子様(なぎなた連盟)
眞田矩義様(グラウンドゴルフ協会)

○受賞者 優秀選手二百八十七名

野球の部(二十一名)
卓球の部(三名)
ソフトテニスの部(七名)
バスケットボールの部(一名)
サッカーの部(九名)

柔道の部(一名)

剣道の部(九名)

弓道の部(二名)

空手道の部(四十四名)

陸上競技の部(十九名)

水泳の部(六名)

スケートの部(十二名)

体操の部(一名)

バドミントンの部(一名)

少林寺拳法の部(二十一名)

ソフトボールの部(五名)

硬式テニスの部(一名)

ラグビーフットボールの部(十一名)

ダンススポーツの部(三名)

ゴルフの部(一名)

自転車競技の部(三名)

山岳の部(一名)

レスリングの部(一名)

トライアスロンの部(五名)

ウエイトリフティングの部(一名)

ボクシングの部(一名)

ドッジボールの部(三十六名)

バレエの部(一名)

ダンスの部(二十四名)

ムエタイの部(一名)

バントワリングの部(十六名)

アイスホッケーの部(一名)

合気道の部(一名)

武術太極拳の部(一名)

近代三種の部(一名)

エアロビックの部(一名)

トランポリンの部(一名)

ボウリングの部(一名)

剣道の部(一名)

チアダンスの部(十一名)

会場では体育功労者の表彰、

優秀選手が読み上げられ、優

秀選手には壇上で各競技種目

代表者に賞状と楯が授与され

ました。受賞者の皆様おめで

とうございました。

スポーツ講演会

令和二年二月二十三日(祝)

○会場 やまぶき会館

講師に第六十二代横綱大乃国の芝田山康氏を招き、「私が学んだ相撲人生」をテーマに講演会を開催しました。

柔道の世界で活躍していた芝田山少年は、相撲界入門当初、「相手と組む」ことが基本の本と「押す」ことを基本とする相撲の違いに苦慮したということでした。

また、十両時代には、初代若乃花が師匠であった二子山部屋によく出稽古に行って、一時間のぶつかり稽古は当たり前前にもやっていたそうです。稽古がとても辛い毎日でしたが、努力を重ねて大関時代には全勝優勝、横綱時代にも優勝し、「辛抱・努力」の大切さについてお話をされました。

横綱時代には、負け越しを経験したこともありましたが、

「休場は試合放棄である。休

場せず自分に正直に相撲をと

った」という言葉が印象に残

りました。

質疑応答の際には質問者に

丁寧に対応されており、講演

会は大盛況に終わりました。



編集後記

本年度の最終号(二十九号)をお届けします。年三回(スポーツ川越含)の発行を二班に分担して作成しました。委員の方々には、一年間ご協力ありがとうございました。

発行 川越市体育協会